



こんにちは 豊前市議会です

No.91
平成28年2月

12月定例会(11/30～12/17)主な内容

目次
CONTENTS

議案の概要	2P
平成27年11月臨時会、12月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～12P
議会報告会	13P
トピックス・編集後記	14P

昨年10月に開催された議会報告会の様子

詳細は13ページに掲載



【岩屋活性化センター】



【黒土公民館】



【角田公民館】



【中央公民館】

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

第6回臨時会

●平成27年第6回臨時会は、11月20日に開催されました。本臨時会では、前議会（9月定例会）より継続審査となっていました「議員定数条例の一部改正について」採決がなされ、賛成多数で可決されました。

また、農業委員会委員を議会から市長に対し2名推薦しました。

農業委員の推薦

議会から市長に対し、2名を推薦しました。

農業委員会委員

（敬称略）

豊前市大字中村

山崎 廣美

豊前市大字八屋

磯永 優二

議員定数2減案 可決!! 次回選挙より定数13へ

9月議会に行財政改革の観点から議員提案され、継続審査となっていた議員定数削減案について、議会報告会でアンケートを実施しました。その結果、「減らした方がよい」が70%、「現状のままでよい」が21%であり、付託された総務委員会（閉会中である11月2日開催）でこの結果が報告され、議論がなされました。議員からは賛否両論でしたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。

これを受け、11月20日に臨時会が開催され、賛成多数で可決となりました。

第7回定例会

●平成27年第7回定例会は、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例1件、予算2件、その他の案件8件合わせて11議案が提案され、所管の常任委員会で慎重に審査し、いずれも原案どおり可決されました。

また、市長より「電源のまち宣言」が提出され、所管の常任委員会で審査し、原案どおり可決されました。

「未来へつなぐ電源のまち宣言」 が可決しました。

市長より、豊前市を電源のまちにするとの宣言議案が最終日に提出され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。

「電源のまち宣言」の原文は以下のとおりです。

明治以降、豊前市は電源供給を担うまちとして発展してきた。岩岳水電、宇島火力発電所など先人達の大きな志とその努力により、近代化推進の原動力として地域において重要な役割を果たしてきた。一方、東日本大震災以降、我が国の電力供給は多様な電源による効率的なエネルギーの活用が求められている。再生可能エネルギーの活用は、資源に乏しい我が国において今まさに求められる重要な政策であり、未来の子ども達へとつなげる循環型社会づくりに必要不可欠な取り組みといえる。

こうした時代背景を踏まえ、我々は豊前市が子ども達の笑顔あふれる、そして未来へと発展するまちとなるよう努力しなければならない。

その大きな原動力となる新たな電源のまちづくりを推進するため、ここに「未来へつなぐ電源のまち宣言 ～多様化するエネルギーを活かした循環型社会づくり～」を宣言するものである。

海業支援施設の設置条例 可決!!

現在、市は水産業の振興および漁港の賑わい創出のため、来年春の完成を目指して水産振興施設の整備を進めています。新施設は、「豊前海を味わい、学ぶ施設づくり」をコンセプトに海産物の直売所、水揚げされた魚介類の加工所、季節ごとに旬の魚介類を提供する食堂等が一体となった複合施設です。

1階には直売、加工、展示・学習のスペースを設置。2階には「漁師食堂うのしま豊築丸」を移設し、海や漁港の眺望を楽しみながら食事をすることができる食堂スペースを設ける予定です。

平成27年11月臨時会 議案審議結果

「○」………… 賛成 「●」………… 反対
「議長」…… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江哲文	平田精一	安江千賀夫	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	尾澤満治	山崎廣美	爪丸裕和	宮田精一	磯永優二	渡邊一	秋成茂信	賛成	反対
議案第70号	豊前市議会議員の定数条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	●	欠席	10	2

平成27年12月定例会 議案審議結果

「○」………… 賛成 「●」………… 反対
「議長」…… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	黒江哲文	平田精一	安江千賀夫	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	尾澤満治	山崎廣美	爪丸裕和	宮田精一	磯永優二	渡邊一	秋成茂信	賛成	反対
議案第71号	豊前市海業支援施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第72号	指定管理者の指定について（豊前温泉天狗の湯）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第73号	指定管理者の指定について（豊前市立図書館）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第74号	豊前市の区域内にあらたに生じた土地の確認について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第75号	字の区域の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第76号	豊前市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第77号	京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び京築広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第78号	京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第79号	平成27年度豊前市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議長	○	欠席	11	1
議案第80号	平成27年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第81号	「未来へつなぐ電源のまち宣言 ～多様化するエネルギーを活かした循環型社会づくり～」について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0
議案第82号	指定管理者の指定について（豊前市海業支援施設）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠席	12	0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『豊明会』の一般質問



鈴木 正博



平田 精一



黒江 哲文

【質問項目】

- ① 市民対応業務
- ② 高齢者対応業務
- ③ 行政業務の連携
- ④ 豊前市の「コンプライアンス経営」
- ⑤ 農業委員会
- ⑥ 観光問題
- ⑦ 社会福祉問題
- ⑧ 教育問題
- ⑨ 豊前・耶馬溪線

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

市民の声「目安箱」の対応について

黒江議員 目安箱を市内17箇所に設置しているが、市民の声に対する対応を確認したい。まずどのような声が多かったかお尋ねしたい。

総務課長 職員に対する苦情やお礼、道路に対する提案や意見、公共施設に関する要望や苦情、イベントに関する要望等が多くを占めている。

黒江議員 職員に対する苦情やお礼の声は、庁内でのように伝えているのかお尋ねする。

総務課長 所属長へ回覧しており、指導や周知については所属長の判断に任せている。

黒江議員 所属長に任せるといふところに問題があるのではないかと思つ。市民の声への対応について、総務課がしっかり指導すべきではないかと思つ。道路や公共施設に関する

要望については、対応できる予算が全体としてどれだけあるのか説明していただきたい。

副市長 目安箱で突如出た要望については、予算措置が出来ていないので、関係区長等と話をする程度になると思つ。財政状況を見て、緊急性のあるものから実施をしていくことになる。

黒江議員 市民対応業務について、予算の問題、職員の意識、また感覚の問題、そのようなことが原因で市民の不満や苦情につ

ながることが大変あるかと思つ。そこで提案であるが、動きや対応の良い職員、やる気のある職員を配置した担当課をつくり、目安箱や地域の陳情や要望、市民の声を全て管理し、対応する予算を付けてはどうかと思つがいかがか。

市長 市民の声を即反映して、改善改良していくというのは、非常に良い提案である。ただ一方で、我々は年次計画に基づき、粛々と事業を進めている。限られた予算をどう配分できるか、その辺の課題を整理していきたい。

黒江議員 市民からの大切な声を、いかに拾い上げるかが重要であると思つ。ぜひ共に頑張っていきたいと思います。



コンプライアンス 経営について

なければいけないと考えている。

鈴木議員 そこで事業の適正な手続きについて伺いたい。平成25年度から計画実施されている水産振興施設だが、補正予算を重ね事業費が膨らんでいる。その原因の一つが特別な梁と聞いたが、どのような梁を使用しているのか伺いたい。

農林水産課長 地元産を活用するため、杉や檜が中心である。

鈴木議員 この工事については、担当職員に専門技術者がいないが問題はないのか。

副市長 法令上は問題ないと考えている。

鈴木議員 建設事業は専門的知識や経験が必要とされる。私の提案であるが、土木・建築の技術職員を一課に集め、市で行う工事や維持管理をすべて集中させてはどうか。

市の財政が年々厳しくなるなかで、豊前方式の組織運営を検討すべきと考えるがいかがか。

副市長 まさに技術職員が各課に分散し、いろいろな問題もある。現在、指摘の件も含め、事務改善委員会でも議論し検討中である。

鈴木議員 柔軟な考えで、その時代時代に合った機構に改革するよう努力していただきたい。

鈴木議員 本年度、社会を震撼させるような疑惑、問題が多発している。旭化成建材の杭データ偽装、タカタのエアバックリコール等、企業経営・組織運営が問題にされ、コンプライアンス経営に対する関心が高まっている。コンプライアンス経営について、市長の基本的な姿勢を伺いたい。

市長 行政執行するにあたり何を判断基準にするのか、法や条例がその基本である。それを遵守し、さらにその中でどのように、市民の声、議会の声を反映できるかという知恵も併せて表現してい

「コンプライアンス経営」とは？

法令を遵守する以外にも、社会良識、社会ルール、社内規則、企業倫理などさまざまなルールを遵守して経営すること。コンプライアンス経営に対する関心の背景として、法化社会への変化、競争社会、個人の尊重、国際化社会などが挙げられているが、とりわけ消費者に関わる近時の不祥事の続発がある。

企業は消費者視点のコンプライアンス経営を実践し、消費者との信頼関係を構築する必要がある。

観光でまちおこしを

平田議員 副市長をリーダーとしたまちおこし研究プロジェクトチームができたが、今後どのような活動をしていくのか教えていただきたい。

副市長 従来は縦割り行政で、各課がそれぞれ事業をやっていたため、無駄なお金や人員がいり、問題が多くあった。そのため、横連絡を密にし、効率的に仕事を行なうという考えからこのチームを立ち上げた。観光問題に限らず、いろんな問題について新しいプロジェクトを立ち上げていきたいと考えている。

平田議員 地域おこし協力隊員もプロジェクトチームのメンバーであると思うが、どのような仕事をしているのか伺いたい。

関する取り組み等、一生懸命に頑張ってもらっている。

平田議員 協力隊員は今3名であるが、今後は増やす意向があるのか伺いたい。

市長 今のところ非常に良い波及効果を及ぼしてくれており、地域の中で足りない部分、欲しい部分を補ってくれる即戦力として高く評価している。今後も前向きに検討していきたい。

平田議員 どんどん募集して来てもらうのは良い

平田議員 豊前市を愛し、新しいお店を開きたい、何かをやりたいという強い意思を持った人をぜひ募集してもらいたいと思う。すごく良い制度だと思うので、うまく活用したい人が来るように願っている。

副市長 観光開発ということで、水産振興施設に関することや、観光コースに



プロジェクトチームによるカキの販売の様子

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『豊翔会』の一般質問



安江 千賀夫



岡本 清靖



尾澤 満治

【質問項目】

- ① 水産振興施設
- ② 県営宇島港の浚渫事業
- ③ 市の窓口サービスの在り方
- ④ 福祉バスの利用申し込み
- ⑤ 観光協会の進捗状況
- ⑥ 豊前市の将来像

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

高齢者に優しい福祉サービスを

安江議員 市からの委託事業として、社会福祉協議会が送迎バスを使って生きがいデイサービスを行っているというが、この事業内容について伺いたい。

健康長寿推進課長 現在、65歳以上の独居高齢者で介護保険サービス適用外などの人を対象に、健康の保持増進を図るためレクリエーションや機能訓練、入浴サービスを汐湯の里で行っている。

安江議員 聞くところによると、このデイサービスでは利用申込み時に診断書の添付が必要とのことだが、理由をお聞きしたい。

健康長寿推進課長 この生きがいデイサービスでは、感染症に対する抵抗力が低い高齢者が集団で行動するため、感染が広がりがやすい状況にある。

そのため、肝炎や結核などの感染予防に備えて診断書の提出を求めている。安江議員 感染予防に関することなので、診断書の提出は毎年なのか伺いたい。

健康長寿推進課長 毎年ではなく、サービス開始時に検査結果を提出してもらっている。安江議員 通常の入浴施設やバス利用では、そういった制限はないと思う。



生きがいデイサービスの様子

そのような観点からすると診断書まで取る必要があるのか疑問に感じる。執行部の考えを伺いたい。健康長寿推進課長 やはり集団で活動する以上、感染症への罹患を確認することは必要だと思う。しかし、高額な診断書をわざわざ取らなくても、市の検診などで確認できないか現在、課内で検討しているところだ。安江議員 生きがいデイサービス利用者のほとんどが年金生活だと思う。年金生活者には診断書料ですら高額だと感じるのでは、是非、前向きな検討をお願いしたい。

観光振興による 入込客数増を

車がブームになっており、観光協会ができるのであれば、環境に優しい健康なまちとしてレンタル自転車を実施し、一日市内を観光してもらってはと思うが、執行部の考えを伺いたい。

副市長 豊前市には海から山まで素晴らしい所があり、また古い歴史的景観などもある。しかし、まだそれらを見て回るようなルート等が出来ていないため、それらを整備した後にレンタル自転車を導入したいと考えている。

尾澤議員 また、市内のあちこちに「まちの駅」と書いた白いのぼり旗を見かけるが、これになるには看板、トイレ、休憩所、まち案内人、地図情報な

どがないと出来ないと思う。これらすべてをクリアするのは難しいと思うので、条件を下げてはと思うがいかがか。

まちづくり課長 すべての条件を満たすのは難しいため、現在はトイレと休憩所、パンフレットの設置のみで「まちの駅」として加入をしてもらっている。そのため、当初16の会員でスタートしたが、現在は28の会員に増えている状況だ。

尾澤議員 東九州自動車道の開通が来春となり、豊前市が生き残るためにも市の財産であり、魅力でもある観光を売出し、外部から人を呼び込むことが重要と思う。官民が力を併せて市の観光のPRをお願いしたい。

尾澤議員 そこで、宇島駅前については市の顔になると思うが少し寂しいように感じる。豊前市は海あり山ありで市全体が観光地と思う。ここ数年、健康志向の高まりで自転



市内にある「まちの駅」

市の将来に向けた 景観保全を

岡本議員 豊前市には景観条例があると聞くが、景観地区に指定されているのはどこなのか伺いたい。

まちづくり課長 条例の規定では市内全域を景観地区として指定しているが、特に景観形成重点地区として大字求菩提、鳥井畑の地区を指定している。

岡本議員 その求菩提・鳥井畑の地区はかなり高齢化が進んでおり、約6割の人が65歳以上となっている。その地域で環境を守り、景観の保全に取り組まないといけないとのことだが、対策を伺いたい。

農林水産課長 この地域は求菩提山を中心に棚田等で形成され、山里における日本の原風景と言える。そのため、積極的に景観保全を推進する目的で、

農業振興地域整備計画を策定したところだ。

岡本議員 棚田等の保全については高齢化で維持管理が難しくなっており、ト仙の郷の近辺では田畑が荒廃し、段々と山林化している。景観及び観光のためにも保全すべきと思うが、執行部の考えを伺いたい。

副市長 荒廃地については、まず、どのような所が荒廃しているのか地元の力を借り調査が必要だ。その後、土地の活用について

地域との議論が必要と考えている。

岡本議員 また、観光客が写真を撮る場合、電柱や電線は景観的に良くないと思う。この地域の無電柱化を図ってはと思うがいかがか。

副市長 求菩提地域の景観のためには電柱の地中化は極めて重要と思う。ただ、電柱などは市が所有するものでないため、九電や地域の人の理解、協力が必要である。

岡本議員 求菩提・鳥井畑地区については景観の重点地区に指定されている。地域と行政が互いに知恵を出し、協力して景観保全に取り組んでいきたい。



求菩提山周辺の風景

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『同志会』の一般質問



渡邊 一



爪丸 裕和



福井 昌文

【質問項目】

- ① 教育問題
- ② ふるさと納税
- ③ コンビニ収納及び証明書の発行
- ④ 市の広報
- ⑤ 高齢化社会における市の取組み
- ⑥ 財政問題
- ⑦ 上下水道
- ⑧ 周防灘湾岸道路

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

子どもたちの図書 離れについて

福井議員 子どもたちの図書離れが大きな問題となっている。今現在の各学校の図書室の蔵書数をお尋ねしたい。

学校教育課長 多い所で約5400冊、少ない所で約3800冊となっている。

福井議員 文部科学省が定めている図書標準に達しているかどうか伺いたい。

学校教育課長 標準を超えているのは小学校10校のうち4校であり、中学校については満たしている学校は現在ない。

福井議員 子どもの読書力や教育を高めるために、蔵書の充実を図るべきだと思うが執行部の考えを伺いたい。

教育長 子どもたちの読書離れにはいろいろな課題があると思う。子どもたちが読書に親しむため

のひとつの施策として、

先般、読書フォーラムというかたちで、読書リーダーを中心とした本の紹介、持ち寄り、また各学校での取り組みの発表、意見交換などを行った。

また本年度、県の指定を受けた方策として、「うちどく」という取り組みも行っている。蔵書数が標準に達していないという反省もあるので、財政面を考慮し、教育委員会と

して予算が増えるような努力もしていきたい。

福井議員 最低限、国が基準としている蔵書数の確保は必要だと思うので、ぜひ検討していただきたい。また他の自治体では、図書館と学校のオンライン化を導入しているところもあるようだが、検討しているか伺いたい。

生涯学習課長 各学校のデータを統合し、図書館を核として各学校の蔵書の内容、確認ができるようなシステムが将来出来ればと考えている。

福井議員 どうか他の自治体に負けない、開かれた教育となるようお願いする。

「家読(うちどく)」とは？

「家読(うちどく)」とは「家庭読書」「家族読書」の略語で、家族で本を読んでコミュニケーションすることを目的としている。

最近、子どものいじめや自殺といった社会問題が深刻化しており、こうした子どもたちの心の問題は、家族の会話やコミュニケーション不足が深く影響していると言われている。

このような社会的背景を踏まえ、「家読」により家族のコミュニケーションを図ろうという試みである。

市の発展のため 優秀な人材育成を

陣や、社員により左右される。人材が悪ければ倒産の2文字しかない。小さい企業でも人材さえ確保できれば、一部上場の企業にまで発展することが出来る。やはりしっかりとした人材を育てることが、豊前市の発展につながるかと考えている。そこで人材育成、教育についての考えを伺いたい。

副市長 職員の接遇については、私を含め市民から信頼できるような職員にならなければと考えている。専門職については研修会等で勉強してもらいたい。なおかつ、それでも対応できない職員については人事評価で評価したり、自らその職の降格を希望していく、そ

ういった制度を来年の4月に向け実施をしていきたいと考えている。

爪丸議員 降格の人事については希望でなく、市長権限で出来ないのか伺いたい。

副市長 公務員の場合、制度が確定していないので出来ない。

爪丸議員 能力のない職員は、しっかりと降格人事と早期退職を促す。それくらいの気持ちがあれば、今の職員体質は改善できない。まずは個々の職員の意識改革である。優秀な人材が育てば、豊前市が良くなり、市民も喜ぶ。悪役を演じ、しっかりと取り組んでいただきたい。

副市長 現在、事務改善委員会が議論をしているところだが、定数は220人を上回らないようにという考え方で進んでいきたい。

爪丸議員 民間でもそうであるが、どのような素晴らしい企業であってもそれを経営していく経営



周防灘湾岸道路の 夢を現実に

渡邊議員 私は周防灘湾岸道路の構想について、見直すべきではないかと思う。大変困難だと思

う。もしやり遂げたら素晴らしい経済発展、雇用の促進となる。まち・ひと・しごと創生基本方針の中にも、東京一極集中の歯止めとある。各地方で声を挙げてくれということである。市長、あなたが県議会議員のとき、この湾岸道路構想の先頭に立ったが、そのときの考えをお聞きたい。

市長 我々のこの地域は湾岸に工業地帯、港、漁港など熱を持っているものが並んでいる。これが内陸部の国道でしか結ばれないというのは、地域にとって非常に残念なことである。もう一つは、大分県へダイハツの進出が浮上していたので、ダイハツと日産自動車を結

び、地域活力を高めていくという考え方のもと、呼びかけをしたと記憶している。

渡邊議員 当時と立地条件は変わっていない。人の思いが変わってしまった。この地域の将来のために、周防灘の湾岸地域を日本列島の中でどういうかたちに持っていくか、この熱い思いが段々薄れていったのだからと思う。日本列島の中で一大産業

地域が生まれるのが、この湾岸だと思う。この地域がひとつになり、国に要求することが大切である。今の市長の思いを伺いたい。

市長 この湾岸を、一本の道で結ぶと大きな力になるという見通しは十分にある。まず期成会を再開するため、関連地域、自治体が足並みを揃えることに力を尽くしていきたい。そして実現の日が来るよう頑張っていきたいと思っている。

渡邊議員 この地域の将来のために、我々がやるのだという意気込みで頑張っていたいただきたい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『新世豊友会』の一般質問



秋成 茂信



磯永 優二



鎌田 晃二



山崎 廣美

【質問項目】

- ① ふるさと納税
- ② 有害鳥獣の処理・加工施設
- ③ 水産振興施設
- ④ 救急医療情報キット
- ⑤ 統一的な基準による地方公会計の整備促進
- ⑥ 「ひきこもり」の社会復帰支援
- ⑦ パーキングパーミット制度の導入

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

有害鳥獣の処理・加工施設の早期建設を

山崎議員 豊前市は中川課長を始め有害鳥獣に対して真摯に取り組んでおり、本当に感謝している。

しかし、10年来質問をしてきたが、場所の選定・地元の同意等色々課題があると理解した上で、処理場の建設をいつするのをお尋ねしたい。

副市長 イノシシ・シカ等で農産林物の被害を多大に受けている。議員から何度も指摘を受け、早急に対応しなければと思っています。建設場所もここならどうだろうかと思うところがあるので、決まり次第地元に入りたい。また、近隣市町とも協議をしたい。

山崎議員 あとは経営だと思いが、関係者と十分検討をし、箱モノだけ作つたとならないようにしていただきたい。

副市長 かなりのお金を

投資するので、関係者と協議しながら施設の運営をしていくのが重要だと考える。

山崎議員 現場に出向き解体処理が出来る専用トラックが来年3月に1台完成すると新聞報道されていたが、ご存じか。また、解体した毛・骨等は、今はゴミだが骨粉等にすることで肥料として有効利用出来るのではと思うが、考えをお聞きたい。

副市長 保冷库付のトラックは非常に有効だと思うので、行政として支

援をしたい。また、肥料として活用出来る方法がないかと検討している。

山崎議員 国の補助事業がなくなる前に有害鳥獣駆除の事業を実施してはどうか。

副市長 しつかりとれる補助金はしつかりとり、活用していくという体制で臨みたい。

山崎議員 駆除で一生懸命頑張つて成果を上げている方々はたくさんいる。国の有害鳥獣被害対策優良表彰等で、功績を表したら励みとなると思う。是非検討をお願いしたい。

副市長 豊前市が推薦し表彰もし、なおかつ国からも表彰となれば励みになると思うので、猟友会等と話し合いを持ち対応をしていきたい。



公会計制度を活用し 自治体経営を

取り組んでいきたいと考える。

鎌田議員 市民に分かりやすくするため国際基準の企業会計にすればと思うが、今回の総務省方式の新公会計制度と何が違うのか説明願いたい。

財務課長 企業会計は利益を追求するものであり、地方自治体はサービスを提供するものである。

鎌田議員 今後どのように取り組んでいくのかお尋ねしたい。

財務課長 平成28・29年に色々な研修に参加し勉強したいと考えている。また、導入するのにコンサルをお願いするのか、自前でやるのか検討中である。

鎌田議員 これまでの地方公共団体の公会計制度は、単式簿記、現金主義会計という方式のため、減価償却費等が計上されず、行政サービスに要した総費用が把握しにくくなっている。それを解消するため総務大臣より統一的基準による地方公会計の整備促進が打ち出されたが、本市の公会計の現状についてお聞きしたい。

財務課長 平成20年度決算より総務省改定モデルに従い財務諸表を作成してきたが、今後は基準に従って財務諸表の整備に

「新地方公会計制度」とは？

「現金主義・単式簿記」によるこれまでの地方自治体の会計制度に「発生主義・複式簿記」といった企業会計的要素を取り込むことにより、資産・負債などのストック情報や、現金主義の会計制度では見えにくいコストを把握しやすくなる。そのことにより、自治体の財政状況等を他の自治体と比較しやすくとともに、資産・債務の適正管理や有効活用といった中・長期的な視点に立った自治体経営の強化に資するものです。

鎌田議員 全庁的な取り組みが重要であると思うので、職員のレベルの向上・支援制度の有効活用について研究する部署を作ってはいかがか。

副市長 職員が学ぶという事は非常に重要だと思う。しかし、限られた人員で苦労しており、今の時点では専門の部署を設置するのは無理である。ご理解をお願いしたい。

鎌田議員 発生主義である複式簿記に変えていき、今回の新公会計制度の移行により、財政の効率化と適正化を実施し、長期的な財政運営につなげていただきたい。

鎌田議員 現役世代の不就労者・ひきこもりの増加は地域の活性を妨げるだけでなく、高齢家庭の負担となっており、社会復帰支援策が強く求められている。そこでまず実態を把握するための調査を実施してはどうか。

福祉課長 福岡県・豊前市においても調査は実施していない。ただ生活困窮者自立相談支援事業を本年度実施する予定で、その中でひきこもりの人の把握に努めたい。また、民生委員や地域からの情報により実態を把握し、支援につなげたいと考えている。

「ひきこもり」の 社会復帰支援を

鎌田議員 現役世代の不就労者・ひきこもりの増加は地域の活性を妨げるだけでなく、高齢家庭の負担となっており、社会復帰支援策が強く求められている。そこでまず実態を把握するための調査を実施してはどうか。

福祉課長 福岡県・豊前市においても調査は実施していない。ただ生活困窮者自立相談支援事業を本年度実施する予定で、その中でひきこもりの人の把握に努めたい。また、民生委員や地域からの情報により実態を把握し、支援につなげたいと考えている。

鎌田議員 学生時代からひきこもる人もおり、長くなれば長くなるほど社会復帰が出来ないので、早期に見つけて就労支援し、保護世帯にならないように手を打っていただ

きたい。豊中市では、いきなり仕事につくのが無理という人に対して企業と連携して、最初は1日3時間週3日程度で、人と余り接しない職場等から常勤へとステップアップしていく事業を実施している。豊前市においても社会福祉法人や企業と連携し、実施する考えがあるのか伺いたい。

福祉課長 まず、既存の制度の活用が大前提であり、今の段階で豊中市のような仕組みを創設するのは大変難しいと考える。

鎌田議員 難しいというが豊中市に話を聞き、なぜ出来たのか調査研究してはどうか。また、本市より規模が小さいが秋田県藤里町は福祉の町として有名である。町では、平成17年度に地域福祉トータル推進事業を実施し、ひきこもりの人や障害を持った人等が集う場所を作り、就労につなげたところ。成功事例を参考にし、仕事量が多く大変だと思うが、ひきこもりの早期発見、就労の支援にしっかりと取り組んでいただきたい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問



宮田 精一

【質問項目】

- ① 国際交流についてのこれまでの総括及び今後の方針
- ② 同和行政・同和教育
- ③ アデイクション（嗜癖）問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

同和行政・同和教育の完全終結を

宮田議員 国の同和対策に関する法律は2002年3月末をもってすべて終了しているが、豊前市の同和行政も同様に終了しているのかお聞きしたい。

総務課長 昭和44年に同和対策特別措置法が施行されて以来、豊前市でも同和対策事業を実施しハード面を整備してきた。しかし、現在は新たな事業はなく終了している。また、団体に対する補助金も段階的に廃止し、平成18年度より交付していない状況だ。

宮田議員 同和行政に関して、ハード面の整備や補助金交付がないのであれば終結宣言を出すべきと思うが、執行部の考えを伺いたい。

総務課長 同和問題については特別対策事業により一定の成果があったと

考える。しかし、人権教育及び人権啓発の推進に関しては、豊前市人権施策基本方針に基づき今後

も取り組んでいくこととしており、終結宣言は時期尚早と考える。

宮田議員 次に、人権教育に関して、児童生徒支援加配教員の要求で部落解放同盟の支部長の印鑑を押ししていると聞か、事実かどうか伺いたい。学校教育課長 事実であり、豊前・築上地域が足並みを揃えて要求行動を行っている。

宮田議員 部落解放団体という一運動団体の支部長の印鑑がどうして必要なのか疑問だ。また、一運動団体と学校が協力し合うこと自体がおかしい。それ自体を教育委員会が指導すべきと思うが、考えを伺いたい。

学校教育課長 同和問題はわが国固有の人権問題であり、行政や学校が各種団体と連携しながら同和問題解決に向けた教育や啓発を推進してきた経緯がある。そのことから、今日に至っているようだ。

宮田議員 一運動団体と学校が結びつくのはいかがなものかと思うので、この件に関してはもう少し資料を揃えて追求していきたいと考えている。



同和問題啓発強調月間でのビラ配布の様子

開かれた議会を目指して

第4回議会報告会 を開催しました!!

日時	場所	参加者	アンケート回収率
10月27日(火)	岩屋活性化センター	56人	79%
10月28日(水)	黒土公民館	66人	80%
10月29日(木)	中央公民館	92人	73%
10月30日(金)	角田公民館	121人	74%

昨年10月に議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについて報告をしたり、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で4回目となる報告会では、議会側から各常任委員会での取り組みや市政全般について報告

し、その後、あらかじめ出していたいただいた各地域の課題や要望についての意見交換を行いました。

また、例年実施しているアンケートに関しては、今回、議員定数に関する項目を追加し、記入していただきました。そのアンケートを参考に議員間で協議した結果、議員定数削減となりました。

なお、各会場でいただいた議員定数以外に関するご意見・ご要望についても、今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。

議会を傍聴しましょう!!

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

2月議会日程表(予定)	
日時	会議
2月3日(水)	本会議(議案上程など)
2月4日~9日	休会
2月10日(水)	本会議(一般質問)
2月12日(金)	本会議(一般質問)
2月15日(月)	本会議(一般質問)
2月16日(火)	常任委員会
2月17日(水)	常任委員会
2月18日(木)	常任委員会
2月19日(金)	常任委員会
2月22日(月)	常任委員会
2月23日(火)	常任委員会
2月24日(水)	予備日
2月25日(木)	本会議(採決など)

※議会日程については、変更になる場合がありますのでご了承ください。



常任委員会による視察研修

総務・文教厚生・産業建設委員会

平成27年11月18日～19日に高知市とイーレックス土佐発電所（高知市）で視察研修を実施しました。

高知市では「南海トラフ地震に向けた防災対策」及び「防潮堤の現地視察」を行いました。高知県では南海トラフを震源とする地震が過去100年～150年周期で繰り返し発生しており、次は21世紀前半にも発生するのではないかと懸念されています。そのため、高知市では国や県に津波を防ぐための防災施設の整備を働きかける一方、緊急避難場所や避難路の整備を進めているとのこと。

イーレックス土佐発電所では、豊前市内に建設を予定しているバイオマス発電プラントや主燃料となるパーム椰子（やし）殻に関する説明を受けました。



高知市での視察研修の様子



イーレックス土佐発電所での視察研修の様子

議会運営委員会

平成27年11月25日～26日に内閣官房・経済産業省と東京都中央卸売市場で研修を実施しました。

内閣官房・経済産業省では「マイナンバー制度」について研修を行いました。マイナンバー制度は、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤となるものです。今後、制度が導入されるにあたり、マイナンバーの取扱いや市町村での運用、住民票・各種証明書のコンビニ交付などについて説明がありました。

中央卸売市場では、園芸農業振興のための方策や今後の対応、新豊洲市場への出荷ルートなどについて説明を受け、意見交換を実施しました。



中央卸売市場での視察研修の様子

議会では、議長を中心に「ガラス張りの議会」をモットーに議会だよりをはじめ、議会報告会と様々な活動を一丸となり議会改革に取り組みましたが、最も重要視すべきことは、市民の皆さま方が、どのように議会活動を感じ取ったかだと考えます。

今、全国的に地方選挙では、投票率の低下、無投票の自治体の増加などが問題視されています。興味がないのか？魅力がないのか？理由は定かではありません。そこで、我が豊前市も今年3月末に市議選を控えています。また、来期は豊前市も発展に向けて、取り組みや課題も山積であります。議会も今まで以上に行政へのチェック機能や政策立案能力が求められることだと考えます。

そして、我々議員の活力となるのが市民の皆さまの期待度です。是非とも、より多くの方に投票していただき、議会への関心を示していただくことをお願いいたします。

最後になりますが、この4年間市民の皆さまには、豊前市議会を支えていただき大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。 黒江 哲文



次回の定例市議会は

2月です

● 議会を傍聴しましょう
市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

● 編集委員
編集委員長 尾澤満治
副委員長 安江千賀夫
委員 黒江哲文 平田精一 鈴木正博

● 印刷
築上印刷有限公司社